

特徴

社会人技術者が通常業務と並行して学び続けられるよう配慮されています。

オンデマンド形式の講義と演習で、組み込みシステムの基礎知識が学べます。

IoT時代の組み込み機器に求められる「AIの基礎」「セキュリティの基礎」が学べます。

困った時は、Q&A掲示板で、講師やスタッフに質問ができ、一緒に問題を解決します！

科目の組み合わせは自由です。受講者の目的や学習スタイルにあったオリジナルの研修を実現できます。

受講の流れ（一例です）

学び方は自由です。ご自身の学習スタイルに合わせて、講義動画やQ&A掲示板を活用してください。

講義動画やテストを活用しながら、ご自身のペースで学習を進めていきます。

Q&A掲示板を活用し、他の受講者と学びを共有できます。

コース受講者は、所定の基準を満たすと、科目の単位が認定されます。

コース受講者は、単位を10単位以上取得すると、修了証(※1)が授与されます。

※1：受講したコースの修了証であり、大学の単位、公的資格等を証明するものではありません。

2021年度コース受講者の声

Q1. 仕事と学びを両立するために、工夫されたことは？

スケジュールを立てて、上司と相談し、計画的に受講できるように工夫しました。

開発担当
(1年目)

ノートを必要以上に取りすぎないようにしました。(時間をかけすぎない)

開発担当
(2~3年目)

出勤時は通常業務を行い、在宅ワーク時に受講時間を設けるようにしました。

開発担当
(2~3年目)

オンデマンド形式の利点を活かすために、仕事の進捗を見ながら、臨機応変に受講日程を調整しました。

開発担当
(2~3年目)

週に1回受講する日を決めて、仕事と学びを切り替えて受講しました。

開発担当
(4~5年目)

家での受講環境を整備しました。(ノイズキャンセリング付のイヤホンなど)

開発担当
(6~10年目)

倍速で流し聞きしながら、業務のうち、単純作業などと並行して受講しました。

開発担当
(11~15年目)

テレワークによって通勤時間が削減でき、そこで生まれた時間を学びにあてました。

研究担当
(11~15年目)

Q2. 組み込みシステム基礎コースは怎么样了か？

将来的に活かせるような「ドキュメントレビュー」などが学べたので、実務で実践できるように知識の定着を図りたいです。

開発担当
(1年目)

講義動画を視聴しながら、Q&A掲示板を活用することで、独学では難しいと思っていた「深層学習」を、楽しく学べました。

開発担当
(6~10年目)

「機能安全と安全システム技術基礎」の講義では、実例をもとに解説いただき、とてもわかりやすいと思いました。

開発担当
(11~15年目)

組み込みシステム基礎コースは、知りたい内容を広く学ぶことができ、今後、専門的なことを深く学ぶためのきっかけになりました。

開発担当
(11~15年目)